

室内用ホスクリーン 施工要領

取付けは、製品の落下や事故を防ぐために建築構造を理解されている施工業者様が行ってください。
製品本体が確実に取付けていることを必ず確認してください。

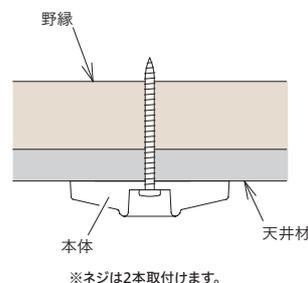
SPC型/SPD型/SPE型

1.木下地(野縁など)がある天井の場合

本体の取付けは、天井裏の野縁へのネジ止めが必要です。

天井材(石膏ボードなど)へのネジ止めは強度が出ず落下する危険があるので絶対にしないでください。

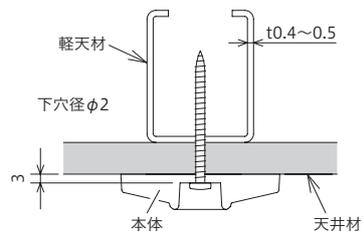
- 野縁の位置をご確認ください。(市販の地下探し用針やセンサーなどで確認してください)
- 建築時にあらかじめ設計に組み込む場合は、物干を取付ける箇所を吊木などで十分に補強していただくとより安心してご使用いただけます。
- 合板へ取付ける場合、厚みは最低9mm必要です。より安心のため、12mm以上を推奨します。
- ネジの取付け時に電動工具で空回りさせるとネジの効き目がなくなり製品の落下などの危険性がありますので、最後の4~5mmは手回しで感触を確かめながら取付けてください。



2.軽天下地の場合

基本的には上記と同様ですが、軽天材に対しては下記についてもご注意ください。

- 下穴をあける際には、ドリルをまっすぐ当ててください。
ドリルを傾けて使うと下穴がゆがんで強度不足となる恐れがあります。
- 軽天材へのネジ締めは、空回りしやすいため、最後の4~5mmの締めこみは必ず手回しで行ってください。
電動工具を使うと下穴が広がってしまいネジが効かなくなる恐れがあります。

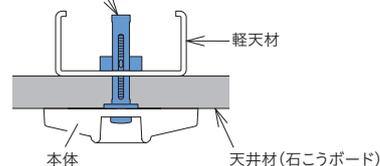


◎(株)八幡ねじ様より販売している「アイティプラグ」は、軽天材+石膏ボード天井材に本体をしっかりネジ締めするのに最適なパーツとなっております。(右下图)

◎市販品「アイティプラグ」での取付け
アイティプラグは一般的には石膏ボードなどの中空壁用ですが軽天材を通して下穴をあければ、本体の取付けが可能となります。

※石膏ボードのみには強度不足となるため取付けできません。
※ネジ及びアイティプラグは2本取付けます。

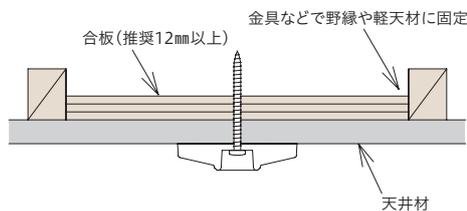
アイティプラグ(4mm)



■ 下地づくりのヒント

野縁(または軽天材)の間に合板(推奨12mm以上)を取付けて下地を作ると、次のようなメリットがあります。

- ・負荷が広い面に分散されるため強度的に有利です。
 - ・ネジが野縁から外れたり、野縁を割ったりするトラブルが減ります。
 - ・野縁の位置に左右されず、取付位置を微妙に調整できます。
- 以上により、取付けが簡単になります。(お施主様による取付けも可能)

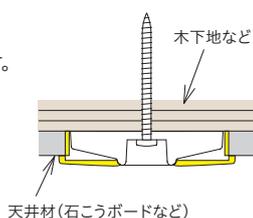


3.SPE型(半埋込)の場合

- SPC型・SPD型と同様に木下地および軽天下地に取付けが可能です。
天井材にφ63の穴をあけて本体を半埋め込みにして、ネジ止めします。

※取付可能な石膏ボードの厚さは
9.5mm(そのまま対応)
12.5mm(付属スペーサーで対応)
9.5mm×2枚(1枚残して穴あけ)

※天井材への穴開け可否については、建築関係法令で制限がありますので、施工店様へ事前にご確認ください。



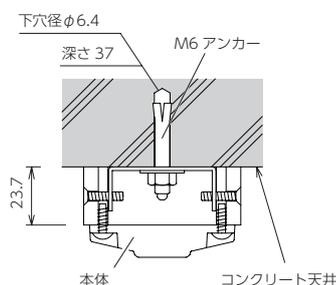
4.コンクリートの直天井の場合

■ コンクリート用パーツ(SPE型には対応していません)

- 本製品は、ホスクリーンSPC型SPD型をコンクリート天井に直付けするためのパーツです。
- 取付けには、コンクリートドリル(φ6.4)で、深さ37mmの下穴を開ける必要があります。

品番
SPRC-1-W

色はホワイトのみです。
アンカー等、取付けに必要なパーツは付属。



室内用ホスクリーン 施工要領

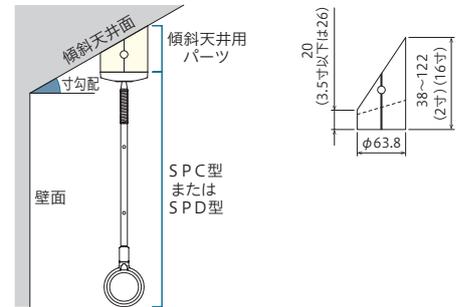
5. 傾斜天井への対応

■ 傾斜天井用パーツ (SPE型には対応していません)

- ご指定いただいた傾斜天井の勾配にあわせて製作いたします。
サイズを下表の寸勾配から選んでご注文ください。
対応勾配: 2寸 (約11.3°) ~ 16寸 (約58°)。
- 納期は約2週間ほどかかります。
- SPC型・SPD型は水平~2寸勾配未満(11.3°未満)まではそのまま取付けてご使用できます。2寸勾配以上の傾斜天井には必ず傾斜天井用パーツをご使用ください。

サイズ表

寸勾配(角度)	角度範囲	寸勾配(角度)	角度範囲
2寸 (11.3°)	11°~12°	7寸 (35.0°)	35°~36°
2.5寸 (14.0°)	13°~15°	8寸 (38.7°)	37°~40°
3寸 (16.7°)	16°~18°	9寸 (42.0°)	41°~43°
3.5寸 (19.3°)	19°~20°	10寸 (45.0°)	44°~46°
4寸 (21.8°)	21°~23°	11寸 (47.7°)	47°~48°
4.5寸 (24.2°)	24°~25°	12寸 (50.2°)	49°~51°
5寸 (26.6°)	26°~27°	13寸 (52.4°)	52°~53°
5.5寸 (28.8°)	28°~29°	14寸 (54.5°)	54°~55°
6寸 (31.0°)	30°~32°	15寸 (56.3°)	56°~57°
6.5寸 (33.0°)	33°~34°	16寸 (58.0°)	58°



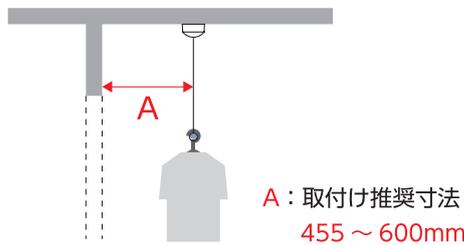
品番
SPKT-1-W (寸勾配指定)
寸勾配でご指定ください。
取付プレート・ネジ付属。色はホワイトのみです。

6. 設置場所について

- 室内専用品です。屋外や浴室内ではご使用いただけません。
- 万一落下した場合に危険な場所には設置しないでください。(ベビーベッドの近くや暖房器具・湯沸かし器の近くなど)

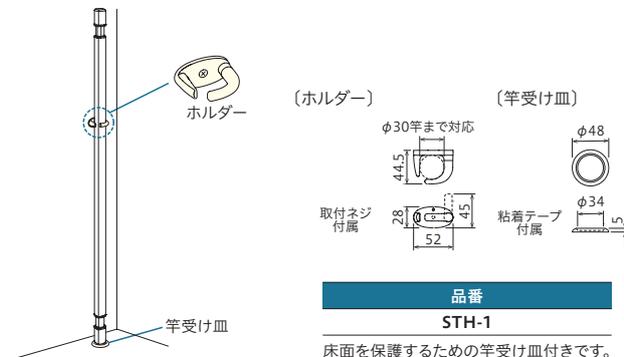
壁からの取付推奨寸法

実際にはカーテンの出幅・ハンガーの大きさを基に洗濯物が接触しない位置にお取付けください。



■ 竿立てホルダー

- 物干として使用しない場合、外した竿を壁に立て掛けておけます。
対応竿径: 30mmまで (QL型対応可能)
- 木下地に取付けてください。
(石こうボードのみの下地には取付けしないでください。)



室内用ホスクリーン 施工要領

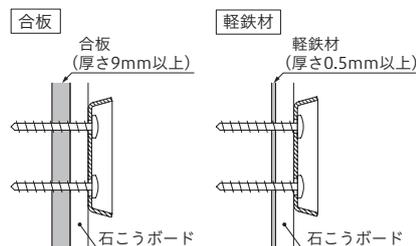
QLH型(QL型専用フック)

1. 下地材(柱・間柱・合板・軽鉄材)がある壁面への取付けの場合

QLH型の取付けは、壁下地へのネジ止めが必要です。

石こうボードなど下地材のない箇所へのネジ止めは強度が出ず落下する危険があるので絶対にしないでください。

- 下地材の位置を市販の下地探し用針やセンサーなどで確認してください。
- 建築時にあらかじめ設計に組み込む場合は、本製品を取付ける箇所を合板などで十分に補強するとより安心してご使用いただけます。
- ネジの取付け時に電動工具で空回りさせると、ネジの効き目がなくなり製品の落下などの危険性がありますので、最後の4~5mmは手回しで感触を確かめながら取付けてください。軽鉄材への取付けは空回りしやすいため、特にご注意ください。



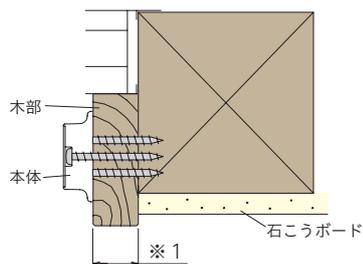
2. 設置場所について

- 室内専用です。屋外や浴室内ではご使用いただけません。
- 万一落下した場合に危険な場所には設置しないでください。(ベビーベッドの近くや暖房器具・湯沸かし器の近くなど)

MD型/MDL型

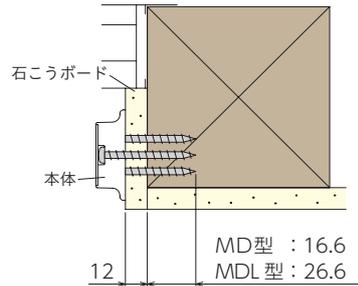
1. 取付けについて

■ 木部へ取付ける場合



- ※1 取付部の厚さは下記の寸法が必要です。
合板 : 12mm以上 / 木材 : 15mm以上 / MDF : 20mm以上

■ 石こうボードを挟んで取付ける場合



- 付属のネジの場合、石こうボード厚12mmまでとなります。
- 石こうボードのみには強度不足になるため取付けできません。

hoshare(ホシェア)

1. 下地

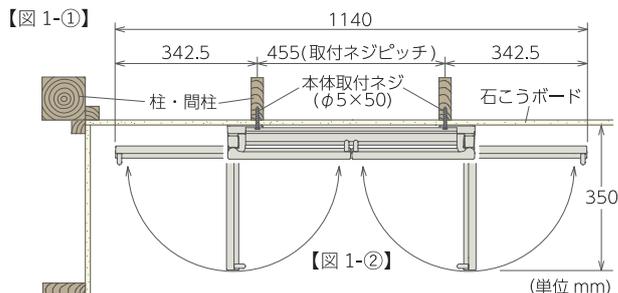
- ・壁内の木製柱、間柱(455mm間隔)に付属の本体取付ネジで取付けます。【図1-①】
- ・間柱(木製・軽鉄製)に対して【図2】のように合板等で補強すると、設置の際の位置決め(左右方向)が自由になります。
- ・間柱が軽鉄材の場合やコンクリート壁・石こうボード等の木下地がない部分は十分な強度が得られないため取付けできません。

2. 取付高さ

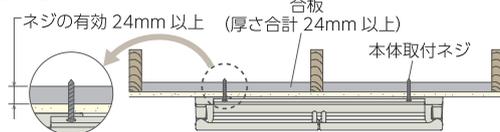
- ・【図3】の取付高さは、身長155cmの方の手が届き、かつ170cmの方の頭にぶつからない目安となります。こうした点に注意の上、使う方にあわせて高さを決定してください。

3. 取付け左右位置

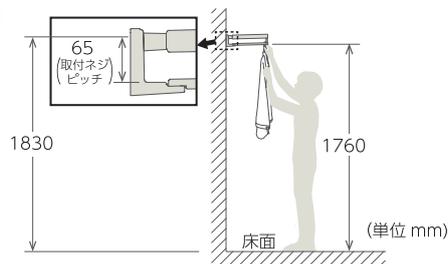
- ・アームを180°に広げた時に扉や部屋角の入隅壁等、干渉するものがないかご確認ください。【図1-②】 その際に広げたアーム両端に掛けたものがはみ出すことも想定して位置決めをしてください。



【図2】



【図3】



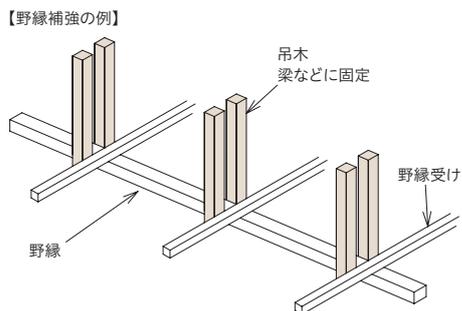
室内用ホスクリーン 施工要領

URM型/URB型/UTM型 /UTMP型

1.天井に面付けする場合(URM型/UTM型/UTMP型を使用)

天井裏の野縁へ付属のネジで取付けます。天井材(石膏ボードなど)のみへのネジ止めは強度が出ず危険なので絶対にしないでください。

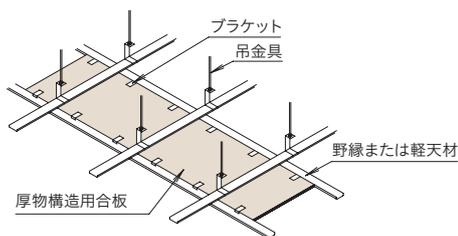
- 石膏ボードアンカーでの取付けはできません。
- コンクリートアンカーでの取付けはできません。
- 建築時にあらかじめ設計に組み込む場合は、物干を取付ける箇所を吊木などで十分に補強してください。
- すでに仕上がっている天井の場合は、吊木のある野縁に取付けてください。
- 軽天材に対しては、右図のような木下地を作り、取付けてください。



■ 下地づくりのヒント

野縁(または軽天材)の間に合板(24mm以上)を取付けて下地を作ると、次のようなメリットがあります。

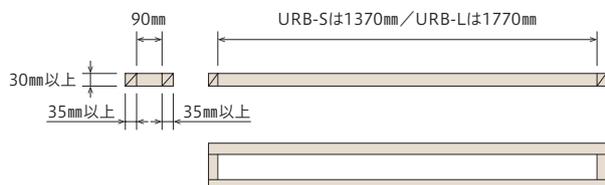
- ・負荷が広い面に分散されるため強度的に有利です。
- ・ネジが野縁から外れたり、野縁を割ったりするトラブルが減ります。
- ・野縁の位置に左右されず、取付位置を微妙に調整できます。



2.天井に埋め込む場合(URB型を使用)

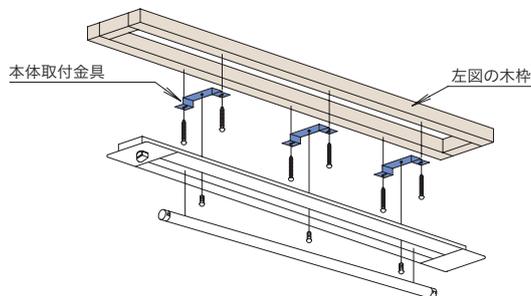
製品を埋め込む天井開口部の回りに木枠を組み、回りの野縁などにしっかりと固定してください。木枠に対して製品に付属の「本体取付金具」を取付けた後に、本体をネジ止めします。

【木枠の寸法】



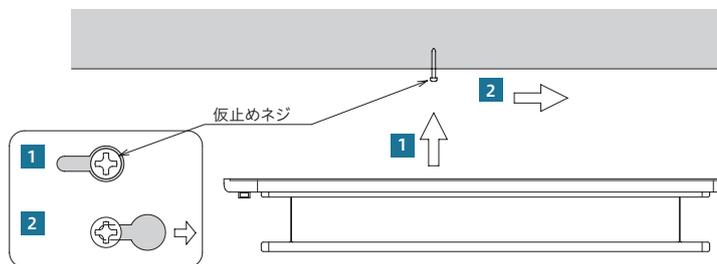
注:木枠を作成する材木は、ネジの十分効く厚み(30mm以上)であること、割れに配慮したサイズであることをご確認ください。

※天井材への穴開け可否については、建築関係法令で制限がありますので、施工店様へ事前にご確認ください。



3.一人でも取付作業可能

製品サイズは大きいですが、仮止めが可能なので下地が出来ていれば一人でも施工可能です。付属のネジを1本天井に打ち、それに本体のダルマ穴を引っ掛けて仮止めます。その後すべてのネジを確実に固定します。(埋込タイプも同様です)



4.傾斜天井には非対応

水平天井専用のため、必ず水平な場所に設置してください。傾斜天井に設置すると、竿を吊っているヒモが部品とこすれて切れる恐れがあります。

5.設置場所について

- 室内専用です。屋外や浴室内ではご使用いただけません。
- 万一、洗濯物等掛けたものが落下した場合に危険な場所に設置はしないでください。(ベビーベッドの近くや暖房器具・湯沸かし器の近くなど)